学校番号	４０５

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	(学)デザイン基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等	副読本「高校生の美術２」（日本文教出版）「デザイン実践」（実教出版） アクリル絵の具セット等の教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・デザインにおける基礎の学習として伝達目的に応じた創造的表現および計画と表示の能力を高める。画材、用具の特性を知り、目的に合わせた活用方法を学ぶ。

2　学習の到達目標

- 知識及び技能：
  デザインの役割、必要性を理解し、目的・条件を的確に捉える力をつける。
  画材、用具の使用法を理解し、特性を生かして表現する力を養う。
- 思考力、判断力、表現力等：
  自己の表現力に加え、柔軟なアイデアを出せる力を養い、制作へのプロセスを学ぶ
  表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な構想を練る。
- 学びに向かう力、人間性等：
  固定観念にとらわれず他者の作品や未知のものを理解しようとする柔軟な感性を育てる。
  他者の理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長する心を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・デザインの役割、必要性を理解し、目的を持って制作に当たる。 ・画材、用具の使用法を生かした技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・見る人、使う人の立場になって目的を見出し、デザインする力を身につけている。 ・目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。 ・デザイン作品についての表現方法を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・デザインの創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 ・他者への理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	題材の評価基準（一部）	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
1学期	デザイン理論	【鑑賞】 ガイダンス ・年間計画 ・デザイン理論	a:デザインの役割、必要性を理解し、多様なデザイン活動や職業につて把握する。(知識･技術) c:デザインについて目的意識を持ち、年間を通して取り組む準備をする。（取り組む態度）	・ワークシート		・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
	色彩構成	【色彩構成】 ・ハイコントラス 人物写真を、3色の色分割でイラスト化し表現する。 色彩・配色・混色 画面構成・レイアウト	a:人物写真を３色の色分割でイラスト化し、アクリル絵の具で美しく彩色表現しているか。(知識･技術) b:自分の感じる色の特性を生かし、自己表現としての色彩の関わりを知る。(表現や構想) c:色についての知識を知り、自己の生活に関わる色から、色彩の特性を理解し興味を持つ。（取り組む態度） c:合評。他者の作品から色の理解について学んでいる。（鑑賞）	・作品点 （技術的観点） ・ワークシート	・作品点 （創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
2学期	展覧会鑑賞	【鑑賞】 ・高校展鑑賞 鑑賞レポート提出	b: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす。（鑑賞） c:高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。（取り組む態度）		鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート

	グラフィックデザイン	【グラフィックデザイン】 ・「抽象表現と文字」 文字を取り入れ、その内容にあった抽象的創造的表現をデザインし、画面構成する。 合評	a:文字をデザインし、丁寧にレタリングされている。(知識･技術) b:個性的な発想で、文字にあった絵画イラストを抽象表現し、デザインしている。 (表現や構想) c:他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にし、ｱｰﾄｽﾀｼﾞｱﾑの発表作品として意欲を持って取り組む。 (取り組む態度)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
	展覧会運営・鑑賞	【鑑賞】 ・アートスタジアム運営・展示 鑑賞レポート提出	c:展覧会の運営を皆と協力しながら実行している。(取り組む態度) 自校の生徒作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。 (鑑賞)			・展示運営の様子 ・ワークシート
3学期	インテリアデザイン・平面	【インテリアデザイン】 ・「パース図の描き方」 透視図法を用いて、室内デザインをする。 合評	a:透視図法を用いて、構想を練り、丁寧にパース図を表現している。 (知識･技術) b:使う人のためのデザインを意識し、インテリアデザインに取組んでいる。(表現や構想) c:作者の意図や表現の工夫を感じ取り作品のよさの積極的理解に努めている。(取り組む態度)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

	インテリアデザイン・立体	【インテリアデザイン】 ・「立体モデル」 パース図に基づいて構想を練り、スチレンボードで立体モデルを作成する。 合評	a:平面表現のパース図から読み取り、的確に計測して立体化している。(知識･技術) b:平面表現のパース図から立体表現のモデルへとイメージを膨らませ、自分の表現したいデザインを実現化している。(表現や構想) c: 他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にし、ｱｰﾄｽﾀｼﾞｱﾑの発表作品として意欲を持って取り組む。 (取り組む態度)(鑑賞)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・合評の様子 ・ワークシート

※表中の観点について、a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度